平成２１年度　校務部会プロジェクト

	教務部	研修部	保体部	生活部
目標	基礎学力を身につける。	物事に一生懸命取り組む姿勢を育てる。	なわとびで自分の体力を高めようとする姿勢を育てる。	心をこめてあいさつする力をつける
課題	△個人差が大きい。 △学習が定着していない。 △漢字が苦手。 △話を聞くことができない。	△集中力が持続しない。 △前向きになりにくい。 △苦手なことに挑戦しようとしない。 △自信がもてない。 △向上心があまりない。	△なわとびにすすんで取り組む子とそうでない子の差が激しい。（技術面でも差が大きくなる） △持久力がやや低い。（スポーツテスト結果より）	△顔を見たり会釈したりしてあいさつする児童が少ない。 △自分からあいさつする子が少ない。 △家庭でのあいさつの習慣がついていない。 △あいさつをして気持ちよかった体験が乏しい。
資源	・ドリルタイムのプリント、ファイル、シール ・ＣＲＴ	・表現タイム　・ドリルタイム ・学校行事　・少人数指導 ・総合、生活科での体験　・異学年交流	・元気タイム ・放送設備	・計画委員会、教職員、ＰＴＡ、地域の諸団体のあいさつ運動 ・掲示スペース
取組	○ドリルタイム　○ＣＲＴ活用 ○授業の自己評価 ○家庭学習カード	○内発的動機を大切にした授業づくり（主体的な学習の創造） ○図工で育てた姿（一生懸命、ていねいに）を生活の場でも育てる。	○元気タイムや体育の時間を活用し、意欲を高める ○わとびカードの活用 ○リズムなわとびの記録・評価	○あいさつ運動を評価する。（放送、カレンダー、委員会の子・地域の方が感じたことを伝えることで、よいことをフィールドバックする） ○掲示物　○道徳の取り組み　○朝会での話 ○ＰＴＡふれあいカードで保護者に働きかける
期待する結果	ＣＲＴ検査の目標値を超える児童が８０％以上	①授業で　学習意欲をもって生き生きと楽しく学習に取り組む子 ②行事で　目標に向かって最後まであきらめずやりぬく子 ③生活で　自分で考えて生活をよりよくしようとする子	色々ななわとびの技（とび方）に挑戦しようとする子ども	だれにでも（地域の人にもクラスの友達にも）自然に自分から気持ちのよいあいさつができる。 あいさつするのがあたりまえにする。
短期成果 （夏休み前）	国語・算数中間のまとめテストが ８０点以上の児童が７０％以上 ５０点以下の児童が２０％以下	①個々が意欲的に、学習課題に向かって取り組んでいる。 ②キラキラ美術館に向けて、自分の表したいものをていねいに表現している。 ③自分が使ったもの（学習道具、本、そうじ道具など）をていねいに片付けている。	リズムなわとびを積極的に取り組む子ども	学校で、先生にも友だちにも気持ちのよいあいさつができる。
中期成果 （前期末）	国語・算数前期のまとめテストが ８０点以上の児童が８０％以上 ５０点以下の児童が２０％以下	①友だちとかかわり合いながら、楽しんで学習をしている。 ②運動会、音楽発表会に向け、一生懸命前向きに練習に取り組んでいる。 ③みんなが使うものもていねいに片付けている。	運動会でリズムなわとびを自信をもって発表する子ども	学校でお客さまに気持ちのよいあいさつができる。
最終成果 （後期末）	国語・算数後期のまとめテストが ８０点以上の児童が９０％以上 ５０点以下の児童が１０％以下	①真剣に聴き、考え、伝え合う学習をしている。 ②全校で卒業式に向かって、心をこめて一生懸命取り組んでいる。 ③自分で気づいて進んで整理整とんをしている。	元気タイム以外の時間でも、進んでなわとびの技（とび方）に、挑戦する子ども	地域の人に気持ちのよいあいさつができる。